

宮崎・境海岸(朝日町)での漂着物調査の様子(10/5)

富山県と(財)環日本海環境協力センター(NPEC)では、漂着ごみの実態を把握するとともに、参加者の皆様に海を守ることの大切さを理解していただくため、日本、中国、韓国、ロシアの沿岸自治体と連携して「海辺の漂着物調査」を実施しています。

10月5日は宮崎・境海岸で約70名の皆さんが漂着物調査に熱心に取り組まれました。当日は、小雨の降る中、ありがとうございました。

【参加者】 朝日町立さみさと小学校(4年生)、朝日町、富山県、NPEC職員

【調査結果の概要】

100m²あたりの漂着物平均個数は47個(うち、「発泡スチロール類」の割合が57%(27個)と最大)
100m²あたりの漂着物平均重量は304g(うち、「発泡スチロール類」の割合が40%(121g)と最大)

漂着物調査の様子



漂着物問題に関する意見交換

